

取組の目的

- 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員の皆さまからグリーンインフラに関連する取組事例や技術・手法を幅広く募集します。
- **優れた取組事例は、「グリーンインフラ大賞」として選定し、広く情報発信を実施します。また、技術・手法は、グリーンインフラの技術等の研究に活用**するほか、技術集としてとりまとめる予定です。
- これらを通じ、多様な主体が積極的に取り組むグリーンインフラを推進します。

募集する取組事例、技術・手法

複数の部門に関わる取組については、そのうち最も内容が深い部門を選んで応募下さい。なお、取組みの内容や効果等については、関連する他の部門に関する事項も含めて記載して下さい。

募集する取組事例の区分

※表彰対象事例だけでなく、表彰対象外の事例も募集
(対象外として応募頂いた事例は、事例集等として活用・公表を予定)

募集する技術・手法の区分

分野	取組事例の応募部門			
部門	I. 防災・減災部門 雨水貯留・浸透等による気候変動・防災・減災	II. 生活空間部門 戦略的な緑・水の利用による豊かな生活空間の形成	III. 都市空間部門 官民連携等による投資や人材を呼び込む都市空間の形成	IV. 生態系保全部門 豊かな自然環境・景観・生態系の保全による地域振興
例	 雨水貯留・浸透機能をもつ気候変動適応広場 (デンマーク コペンハーゲン)	 地域住民による公園・湿地の管理 (イギリス ロンドン) <small>出典：Natural England(2013): "Mayesbrook Park - Green Infrastructure Case Study."</small>	 廃線高架橋における公園整備 (アメリカ ニューヨーク) <small>出典：ハイラインHP (https://www.thehighline.org/)</small>	 公園と河川の一体整備による豊かな生態系をもつ湿地再生 (イギリス ロンドン)
主な主体	地方公共団体 等	地域住民、NPO 等	民間都市開発事業者 等	地域住民、NPO 等
主な実施場所	都市部の公共空間(道路、公園、校庭)等	都市部の公園、空地、河川、農地、住宅地等	都市部	地方部、郊外、里山 等
主な事業種別	整備事業(維持・管理含む)	維持・管理事業(整備含む)	整備事業(維持・管理含む)	維持・管理事業(整備含む)

区分	内容
要素技術	・自然が持つ多様な機能を活用する技術 ・自然が持つ機能を活用することでインフラが本来有する機能の向上を促す技術 等
評価技術(手法)	・GIの導入効果を計測、もしくは推定するための評価技術 ・個々の評価項目を用いた総合的な評価技術 等 (※評価事例でもOK)
マネジメント技術(計画技術)	GIを推進するにあたり、 ・政策・施策立案に資する技術 ・効果を高めるための要素技術を組合せた技術 ・GI導入後の維持管理の段階で活用可能な技術 ・組織間が連携した体制づくり、庁内で連携した体制づくりに関する技術 等 (※マネジメント事例でもOK)
広報・啓発手法	・取組に対する合意形成や参画促進を図るために実施した住民等への啓発手法 ・取組を周知するために実施した広報手法 等
資金調達手法	・GIに必要な事業費や維持管理のために創設・実施、及び活用した資金調達手法 等

【概要】グリーンインフラに関する取組事例、技術・手法の募集：応募方法と大賞選考の流れについて

応募方法

- 取組事例について、GI大賞に応募する場合は『応募フォーマット』に、大賞に応募しない場合は、[技術・手法]と同様、所定の応募フォーマット(ppt・word)、もしくは概要のわかる資料で応募下さい。

取組事例の応募方法

グリーンインフラ大賞に応募する場合

応募フォーマット (ポスター用資料 ppt)

事例の名称(プロジェクト名等)

事例の代表的な写真を1~3点程度貼り付け

取組の位置

地域課題・取組目的

取組内容

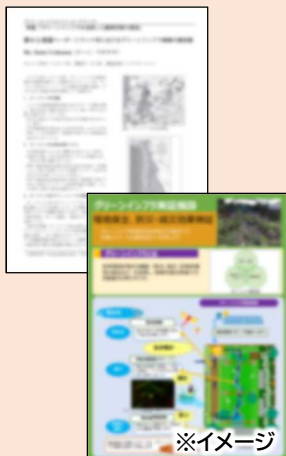
取組効果

その他写真・図等

その他写真・図等

グラフ等

補足説明資料※様式なし (論文・パンフレット等)



+

技術・手法の応募方法

表彰対象外(GIの技術等の研究に活用)

応募フォーマット

(ppt)

事例の名称

事例の目的

事例の経緯

取組内容

取組効果

その他写真・図等

その他写真・図等

グラフ等

(word)

技術・手法 応募様式

グリーンインフラ重要技術等(重要技術) 応募提出資料

応募者

技術者の名前

所属

技術の概要

応用に活用される

応用分野

応用技術

応用効果

その他写真・図等

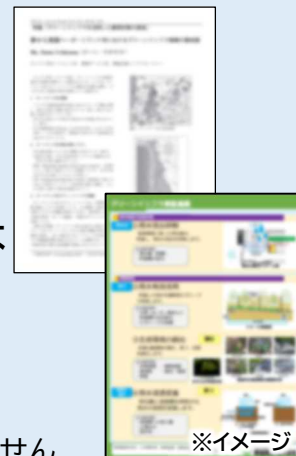
その他写真・図等

グラフ等

又は

又は

概要資料 (論文・パンフレット等)



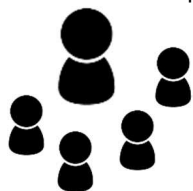
※いずれの方法でご提出を頂いても構いません

GI大賞の選考と表彰までの流れ

※2次審査、最終審査は、新型コロナウイルス感染状況により、WEB開催となる可能性があります

1次審査

企画・広報部会の部長・部会幹事等による審査(ポスター資料・補足資料による書類審査)



2次審査

ポスターセッション(企画・広報部会開催時)

1次審査を通過した事例のポスター掲示を行い、会員の投票等による審査を実施



部門別の受賞者を選定

最終審査

プレゼンテーション(総会・シンポジウム開催時)

2次審査を通過した事例は応募者によるプレゼンを実施し、会員による投票等により最終選考を実施



最優秀賞等を選定

【概要】グリーンインフラに関する取組事例、技術・手法の募集：応募資格、スケジュール等について

応募の資格

- 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員であること。現時点で会員でない場合は、2次審査実施までに会員登録していること
- もしくは、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員との連名による応募、または会員の推薦を受けていること（この場合は、応募用紙に連名団体の中に会員名を、推薦の場合は推薦者となる会員名を記載してください）

<会員登録>

「グリーンインフラ官民連携プラットフォームWEBサイト」
<https://gi-platform.com/>



事例募集&GI大賞に関して

- 審査に関しては、特に以下の視点で評価します。
①地域の課題を複合的に解決、②関係者（官民、組織内、地域）との連携、③自然が有する多様な機能を活用し、多面的な効果を発揮、④効果を発揮させるための工夫（人材育成、維持管理等）、⑤面的な広がりのある取組、⑥上記を実施するための計画を策定する上での工夫 等
- 応募いただいた取組事例は、企画・広報部会等からのコメントを応募者にお伝えいたします。
- 来年度以降も、新たな取組や工夫を追加していただき再応募していただけます。
- 事例集を作成する上で今後の取組の参考となる資料も収集します。
(例) 取組にいたる経緯、実現しなかったが検討した計画、工夫したがうまくいかなかった点、期待していない効果を発揮したもの 等
- 広く事例を収集するため、GIに取り組んでいる事業者や地方公共団体の他部署への展開等ご協力よろしくをお願いします。

スケジュール

- 応募受付期間 2020年9月1日（火）～10月23日（金）17:00必着

[取組事例 (GI大賞)]

1次審査 2020年10～11月（予定）

2次審査 2020年11～12月（予定）

最終審査 2021年3月（予定）
（総会・シンポジウム(予定)）

[技術・手法] & [取組事例 (表彰対象外)]

応募技術・手法の整理
2020年10～11月

技術・金融部会での活用
2020年11月～2021年1月

事例集のとりまとめ
2021年2月（予定）

事例集の公表
2021年3月（予定）

※Webサイトで公表予定

問い合わせ先 (グリーンインフラ官民連携プラットフォーム事務局)

(運営委託会社)
株式会社創建 所、中尾、柳澤
TEL：03-6809-1781

green-infra@soken.co.jp

国土交通省総合政策局環境政策課
傳野(でんの)、大上(おおうえ)、中島
TEL：03-5253-8111 (内線24332、24334、24423)
FAX：03-5253-1550
E-mail：hqt-green-infra@gxb.mlit.go.jp